

Iwatani

**2019年3月期
中間決算説明会**

2018年11月19日

岩谷産業株式会社

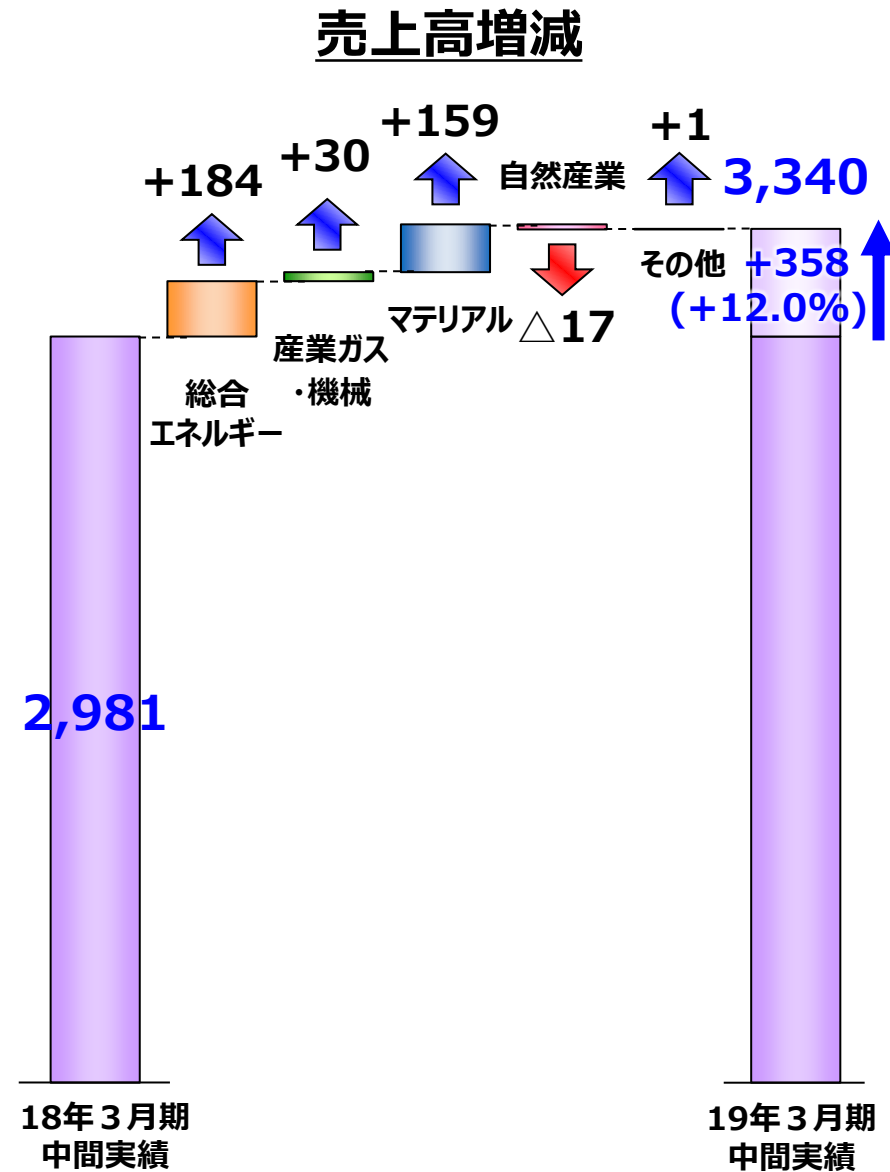
- 2019年3月期 中間決算概況
- 2019年3月期 通期業績予想
- 新たな事業基盤の構築について
- 都市ガス小売自由化について
- 水素事業について

2019年3月期 中間決算概況

(単位：億円)

増収の要因分析

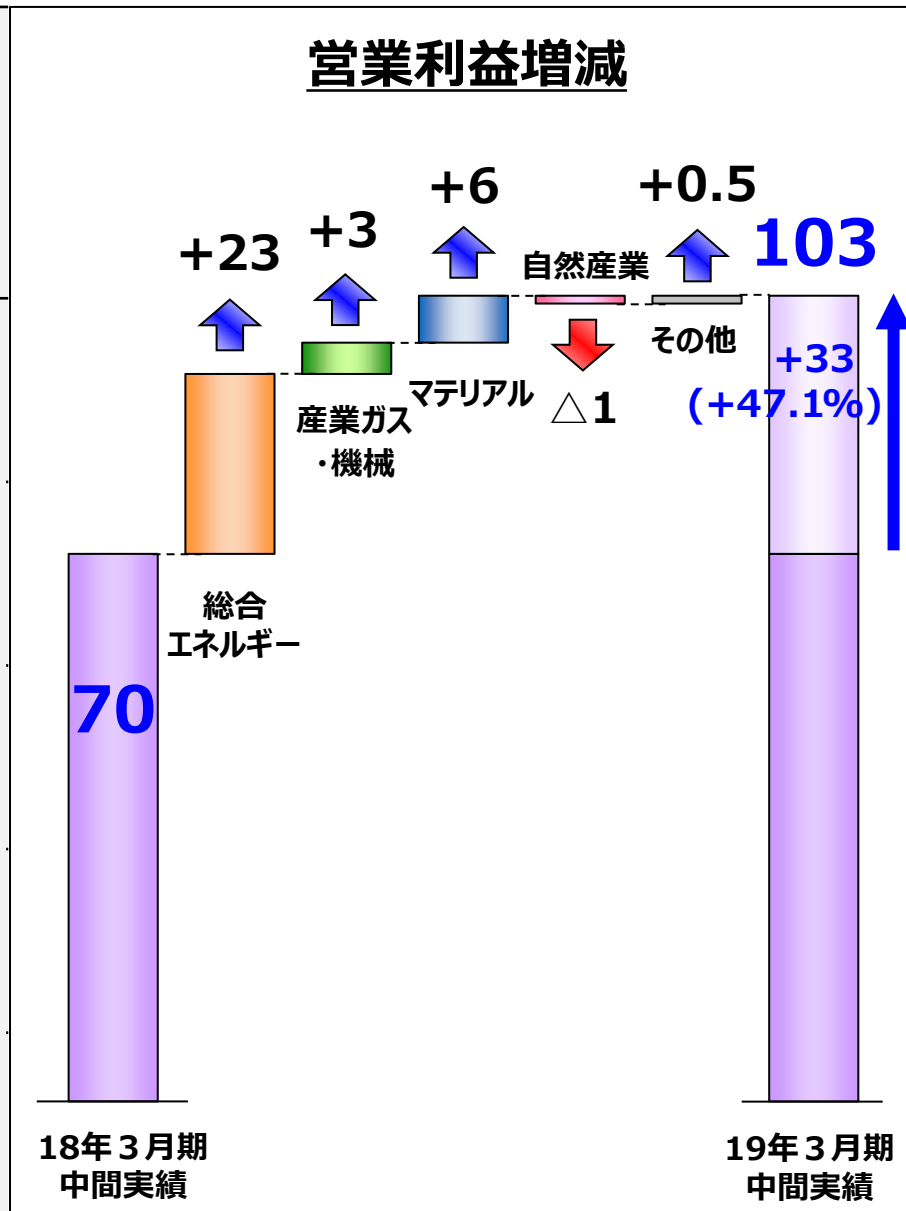
	2019年 3月期 中間実績	2018年 3月期 中間実績	前年比 (増減額)	2019年 3月期 中間予想 (当初)
売上高	3,340	2,981	+358	3,350
売上 総利益	805	756	+49	-
営業利益	103	70	+33	85
経常利益	117	81	+36	95
親会社株主に 帰属する 当期純利益	74	45	+28	55



(単位：億円)

増益の要因分析

	2019年 3月期 中間実績	2018年 3月期 中間実績	前年比 (増減額)	2019年 3月期 中間予想 (当初)
売上高	3,340	2,981	+358	3,350
売上 総利益	805	756	+49	-
営業利益	103	70	+33	85
経常利益	117	81	+36	95
親会社株主に 帰属する 当期純利益	74	45	+28	55



L P ガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

前提

①卸売価格は
L P ガス輸入価格に連動

②輸入～販売の期間は約 3 ヶ月

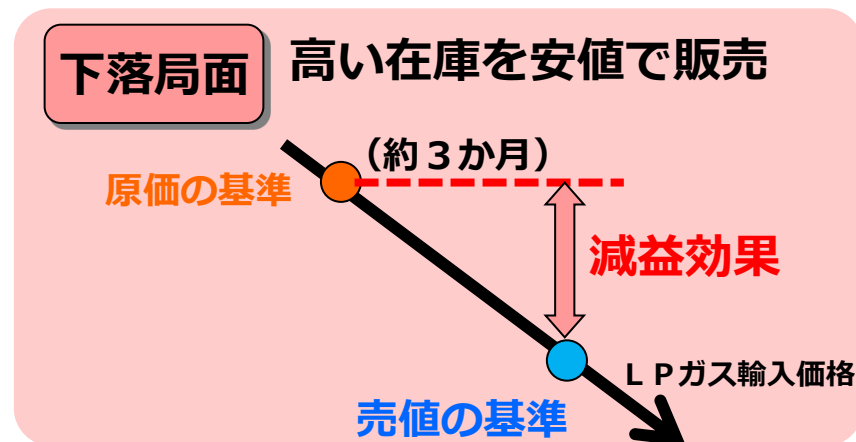
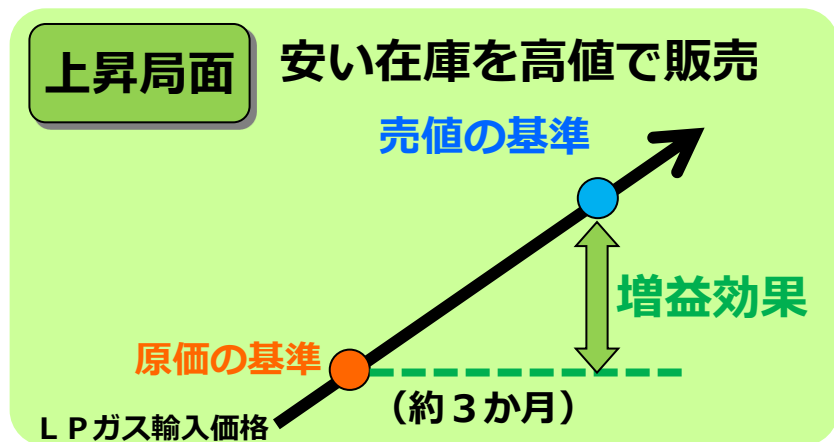
卸売価格 $\propto$ L P ガス輸入価格
(中東玉 (C P) と米国玉 (M B) で構成)



L P ガス輸入
価格が変動

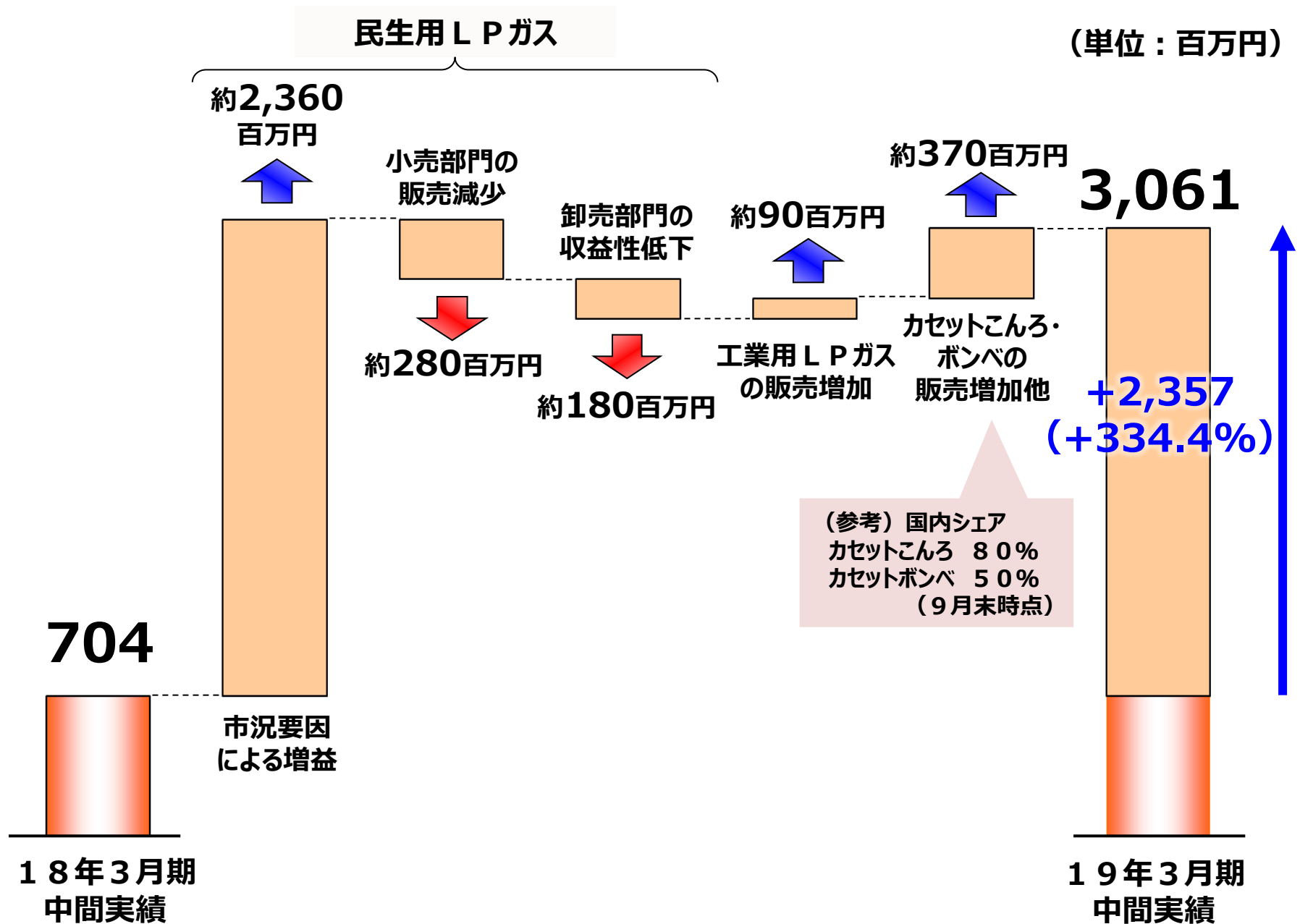
短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（L P ガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※



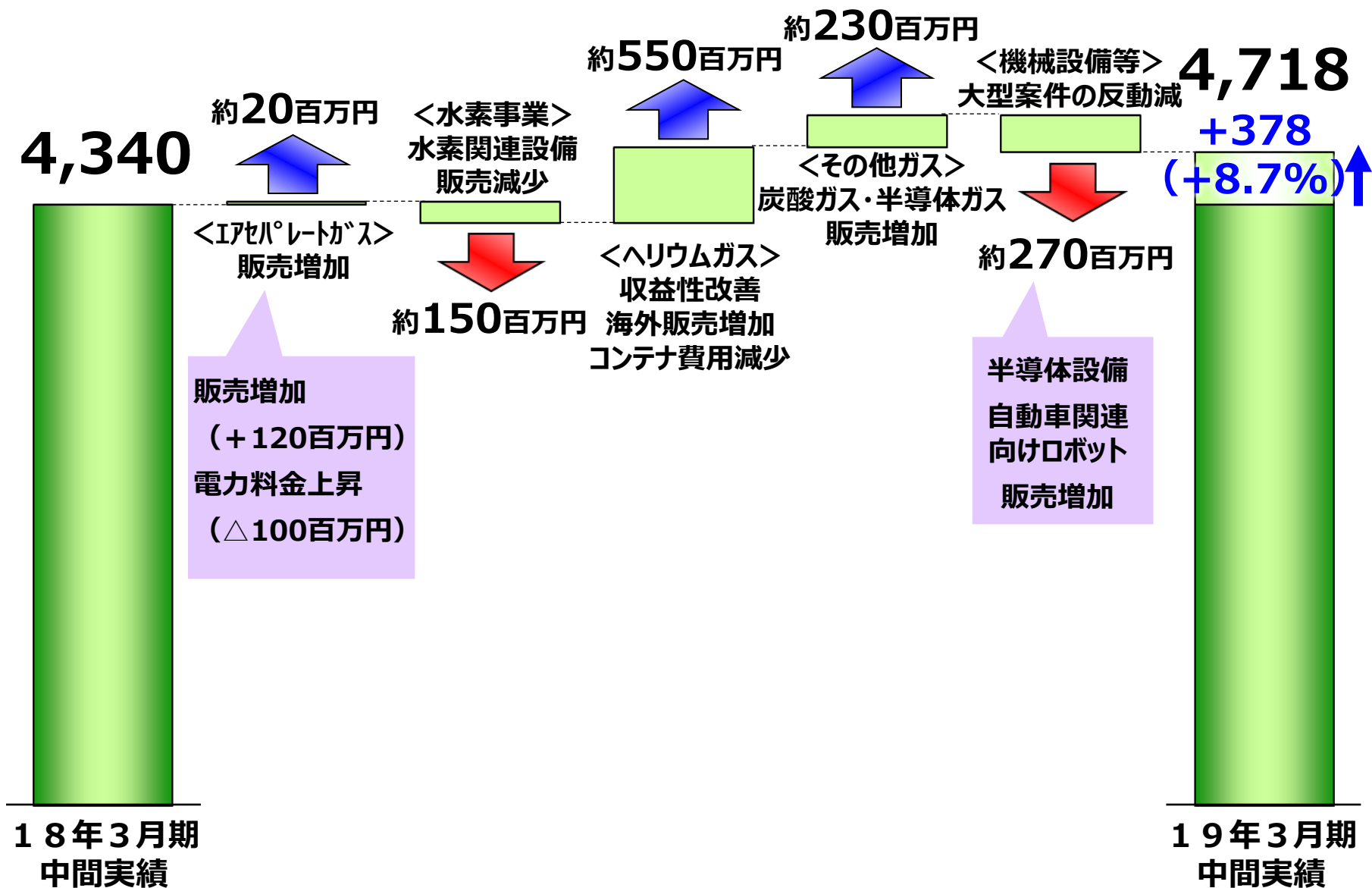
※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します

総合エネルギー事業 営業利益増減分析



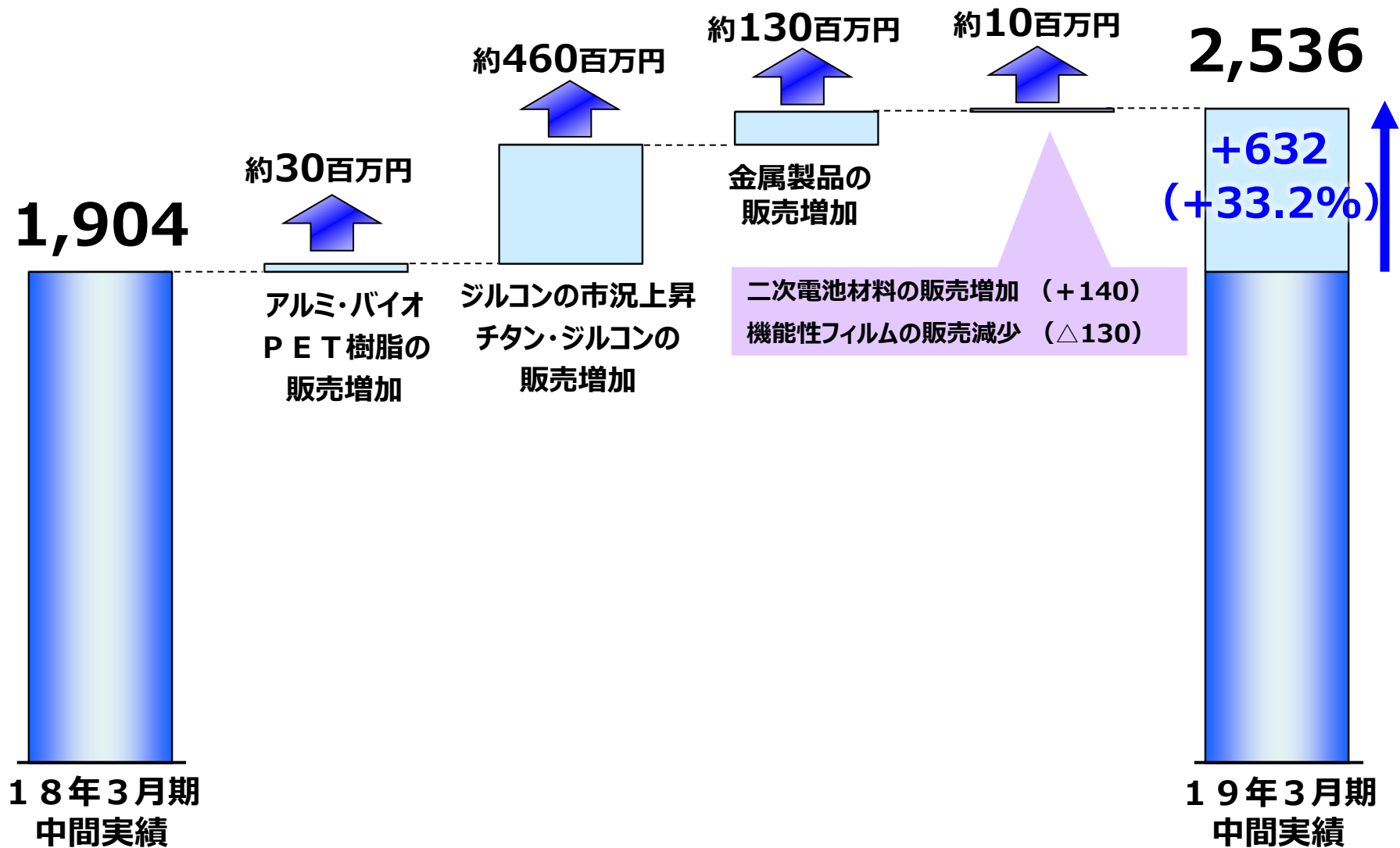
産業ガス・機械事業 営業利益増減分析

(単位：百万円)



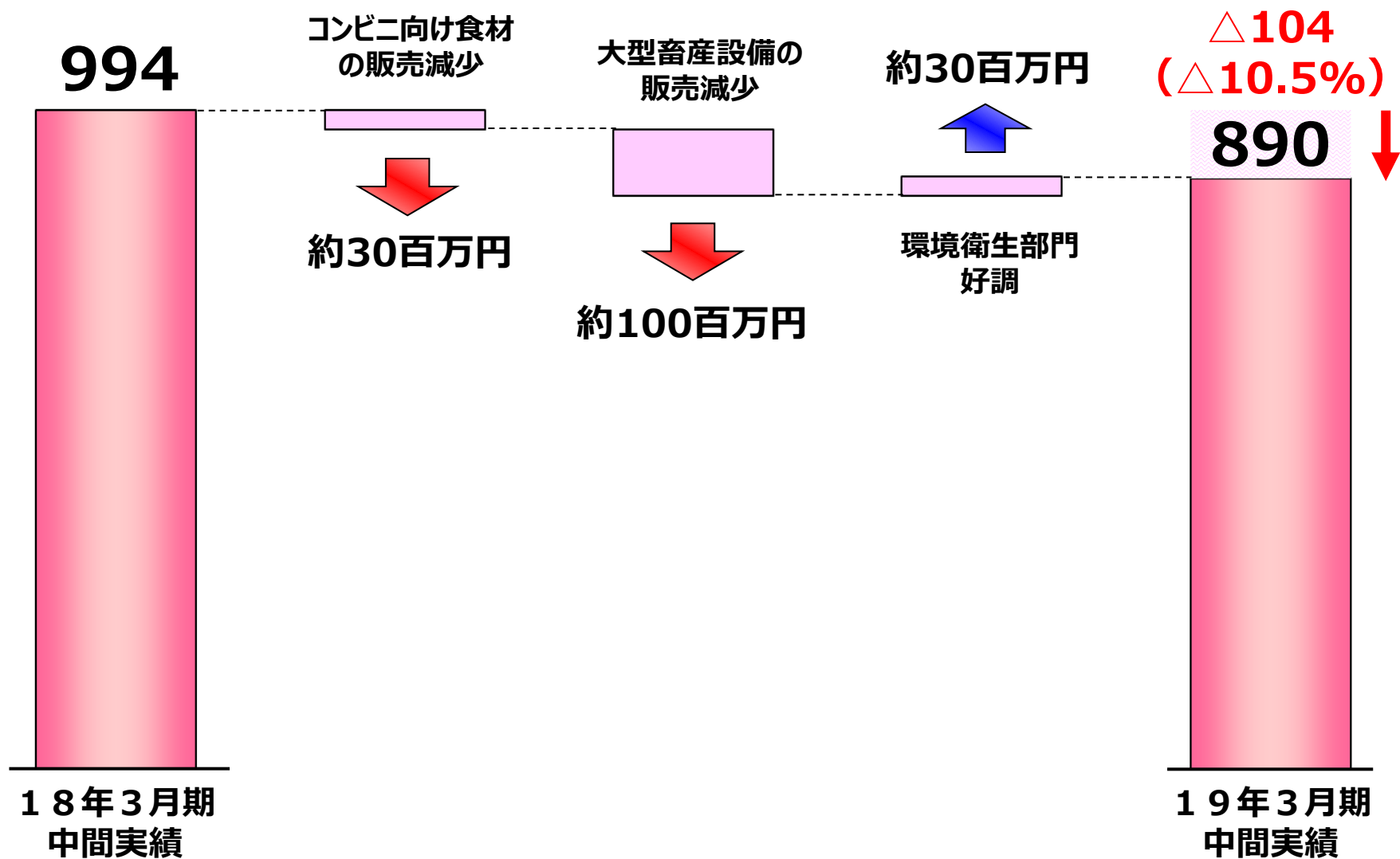
マテリアル事業 営業利益増減分析

(単位：百万円)



自然産業事業 営業利益増減分析

(単位：百万円)



(単位：億円)

貸借対照表（連結）

	2018年 9月末	2017年 9月末	前年同期末比 増減額	主な増減理由
流動資産	1,897	1,762	+135	L P ガス輸入価格が前期と比べ高かったことによる売上債権の増加
有形固定資産	1,621	1,584	+37	ヘリウムセンター及び水素ステーション建設などへの投資
無形固定資産	172	172	+0	
投資その他の資産	849	833	+16	
固定資産	2,643	2,589	+53	
総資産	4,540	4,352	+188	
流動負債	1,702	1,742	△40	有利子負債の減少
固定負債	1,117	1,096	+21	
負債	2,819	2,838	△19	有利子負債 1,372 億円 有利子負債依存度 30.2%
自己資本	1,605	1,405	+199	自己資本比率 35.3%
非支配株主持分	116	107	+8	
純資産	1,721	1,513	+208	
負債・純資産	4,540	4,352	+188	

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2019年3月期 中間実績	2018年3月期 中間実績	前年同期比 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	77	56	+20
投資キャッシュ・フロー	△102	△158	+55
フリー・キャッシュ・フロー	△24	△101	+76
財務キャッシュ・フロー	22	53	△31
換算差額等 ※1	0	3	△2
現預金等の増減額 ※2	△1	△45	+43
現預金等の期首残高	177	212	△34
現預金等の期末残高	175	166	+8

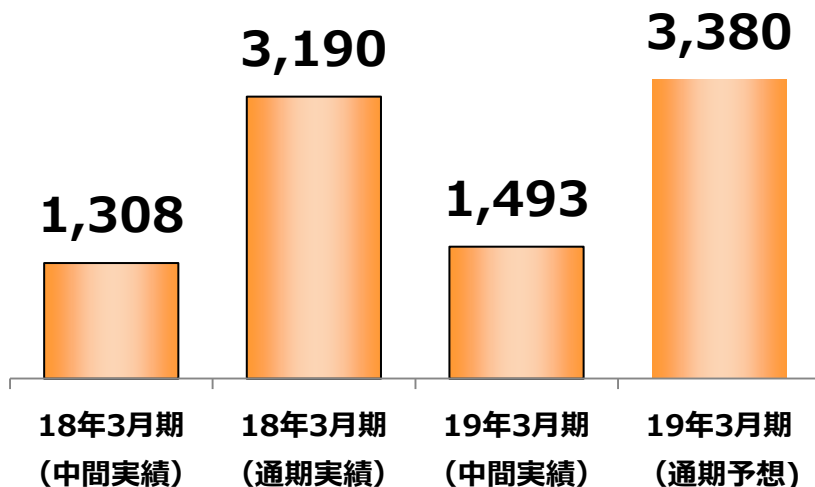
※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております。

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております。

2019年3月期 通期業績予想

売上高

(億円)

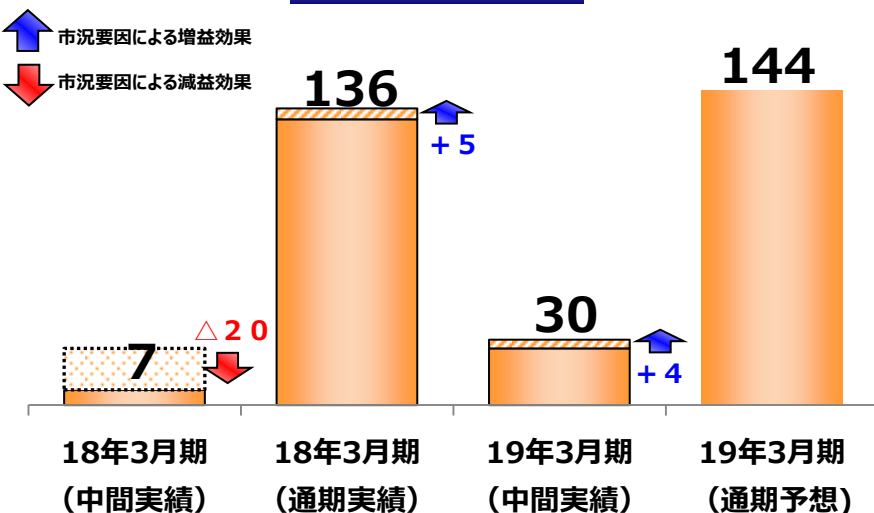


通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・ L P ガスの拡販
→ 消費者戸数の拡大
→ 大口顧客への拡販
- ・ 「カセットこんろ・ボンベ」の拡販
- ・ エネルギー関連機器の拡販

営業利益

(億円)



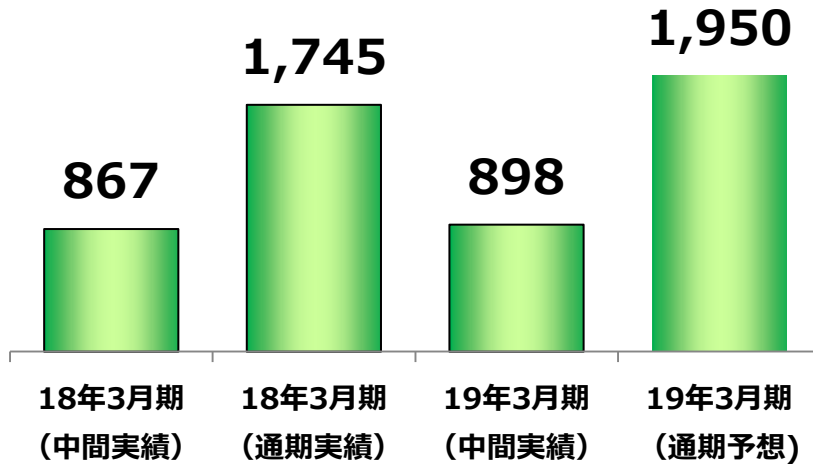
業績が変動するリスク要因

- ◇ L P ガス輸入価格、為替の動向
- ◇ 暖冬による販売数量の減少

産業ガス・機械事業の見通し

売上高

(億円)

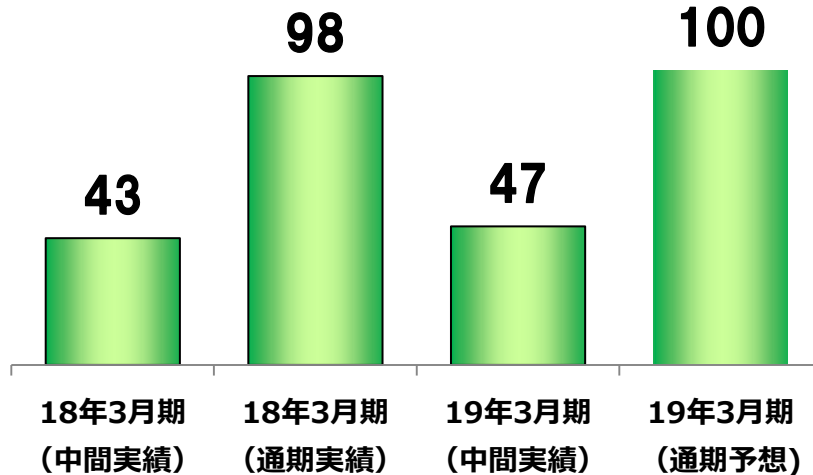


通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・エアセパレートガス・液化水素の拡販
- ・ヘリウムガスの安定供給
- ・機械設備の拡販

営業利益

(億円)



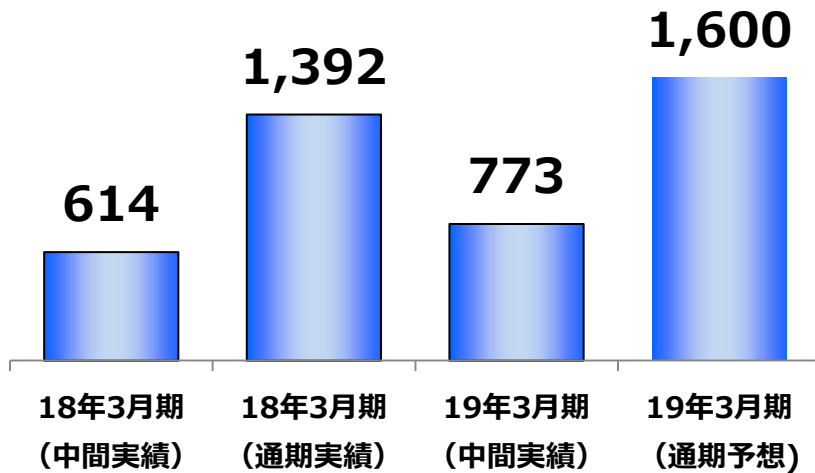
業績が変動するリスク要因

- ◇ 電力料金上昇による製造コストへの影響
- ◇ 国内外の景気低迷
- ◇ 為替変動

マテリアル事業の見通し

売上高

(億円)

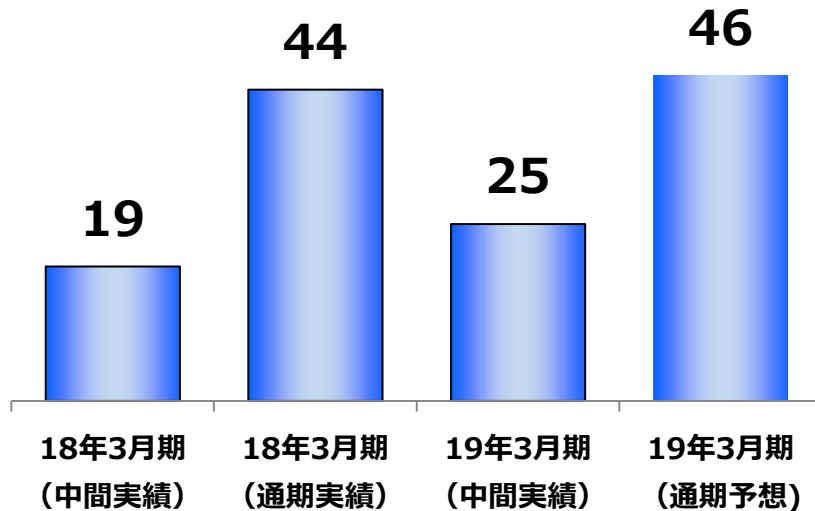


通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・環境に優しいP E T樹脂原料の拡販
- ・チタン・ジルコンの拡販
- ・バイオマス事業の拡大
- ・E V 関連等電池材料の拡販

営業利益

(億円)



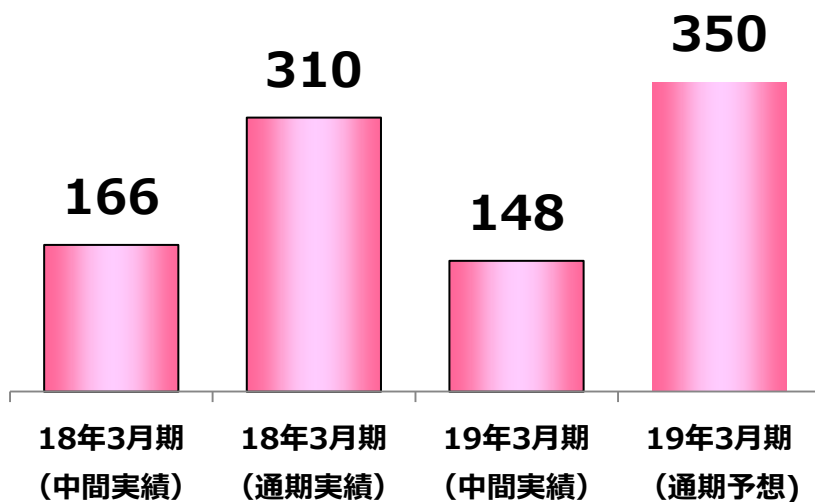
業績が変動するリスク要因

- ◇顧客企業の工場稼働率の低下
- ◇資源市況の低迷、価格変動
- ◇為替変動

自然産業事業の見通し

売上高

(億円)

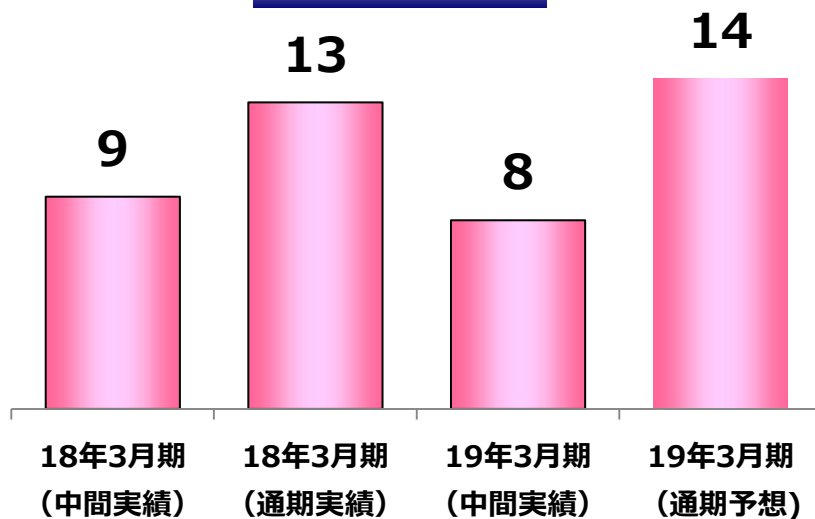


通期業績予想の達成に向けた営業施策

- ・冷凍食品の拡販
- ・農業・畜産設備や種豚の拡販

営業利益

(億円)



業績が変動するリスク要因

- ◇為替変動
- ◇原材料価格変動
- ◇天候不順

2019年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期 業績予想	2018年3月期 実績	前年比 (増減額)	前年比 (%)
売上高	7,350	6,707	+642	+9.6%
総合エネルギー事業	3,380	3,190	+189	+5.9%
産業ガス・機械事業	1,950	1,745	+204	+11.7%
マテリアル事業	1,600	1,392	+207	+14.9%
自然産業事業	350	310	+39	+12.7%
その他	70	69	+0	+1.1%
営業利益	284	271	+12	+4.4%
総合エネルギー事業	144	136	+7	+5.2%
産業ガス・機械事業	100	98	+1	+1.9%
マテリアル事業	46	44	+1	+2.8%
自然産業事業	14	13	+0	+5.1%
その他・調整額	△ 20	△ 21	+1	—
経常利益	300	294	+5	+2.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	180	175	+4	+2.4%

想定レート

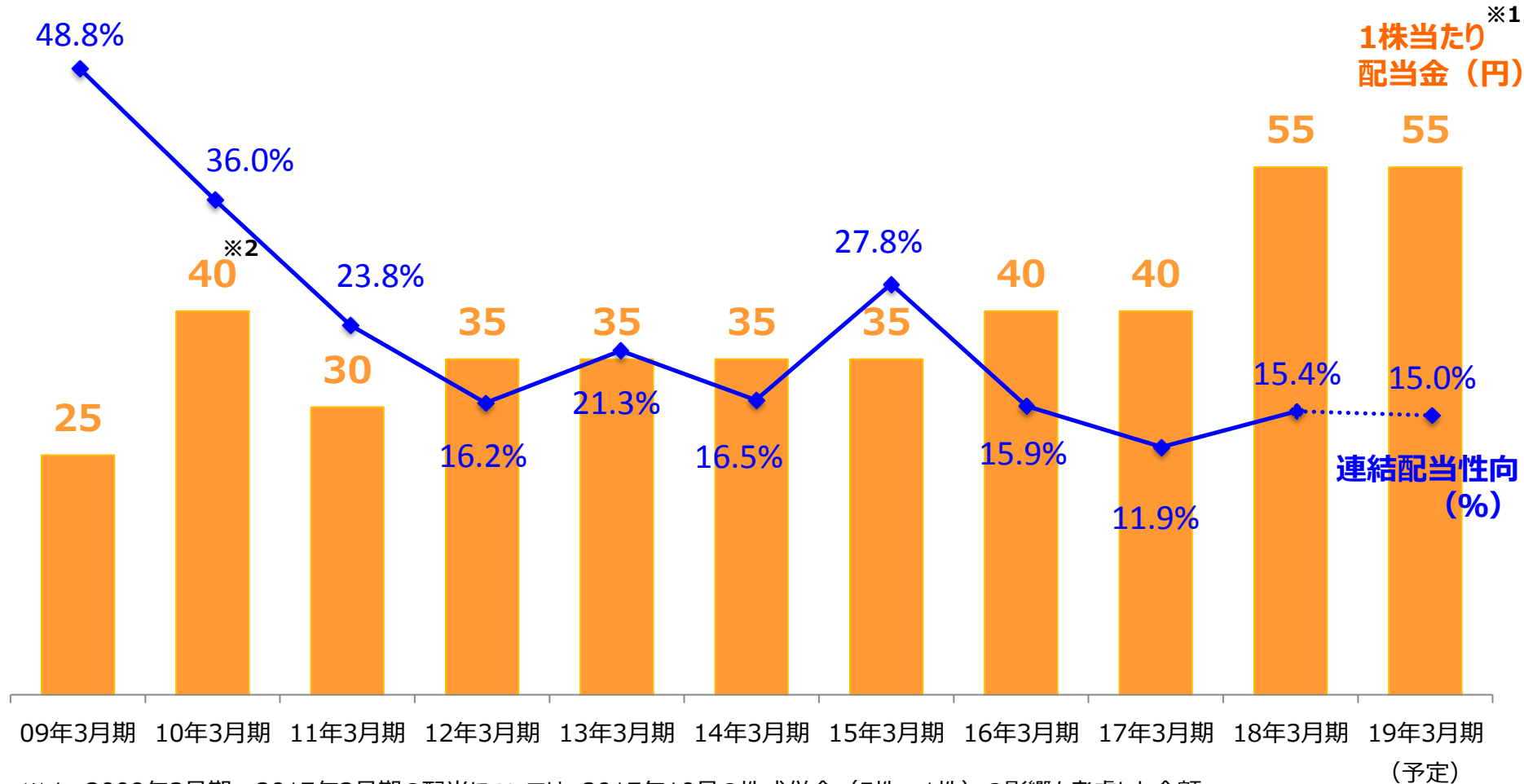
為替 110円/\$

LPガス輸入価格 510 \$/ト

株主還元について（連結）

配当方針

- ・継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



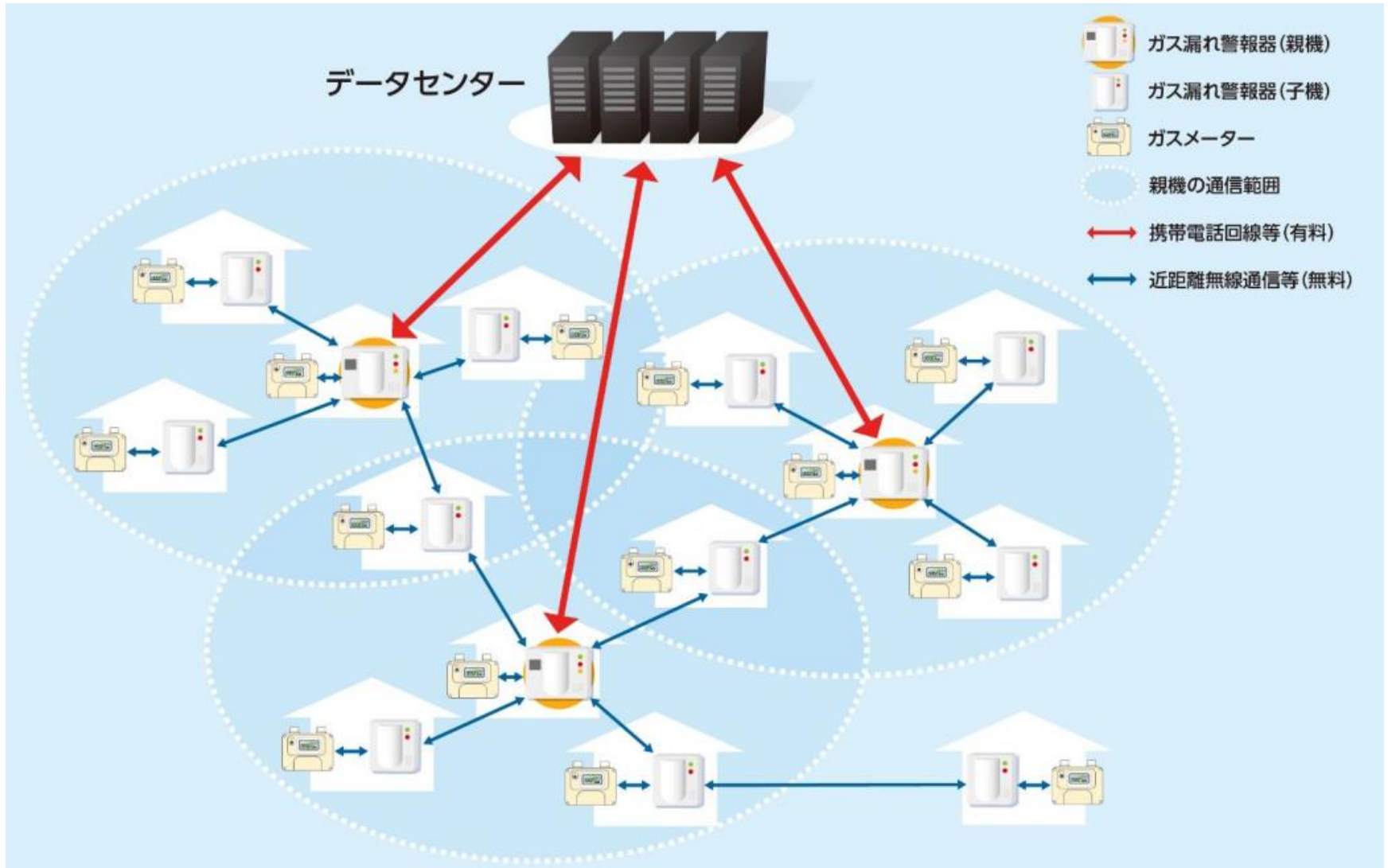
※1 2009年3月期～2017年3月期の配当については、2017年10月の株式併合（5株→1株）の影響を考慮した金額

※2 うち記念配当15円含む（株式併合の影響を考慮）

新たな事業基盤の構築について

新たな事業基盤の構築について

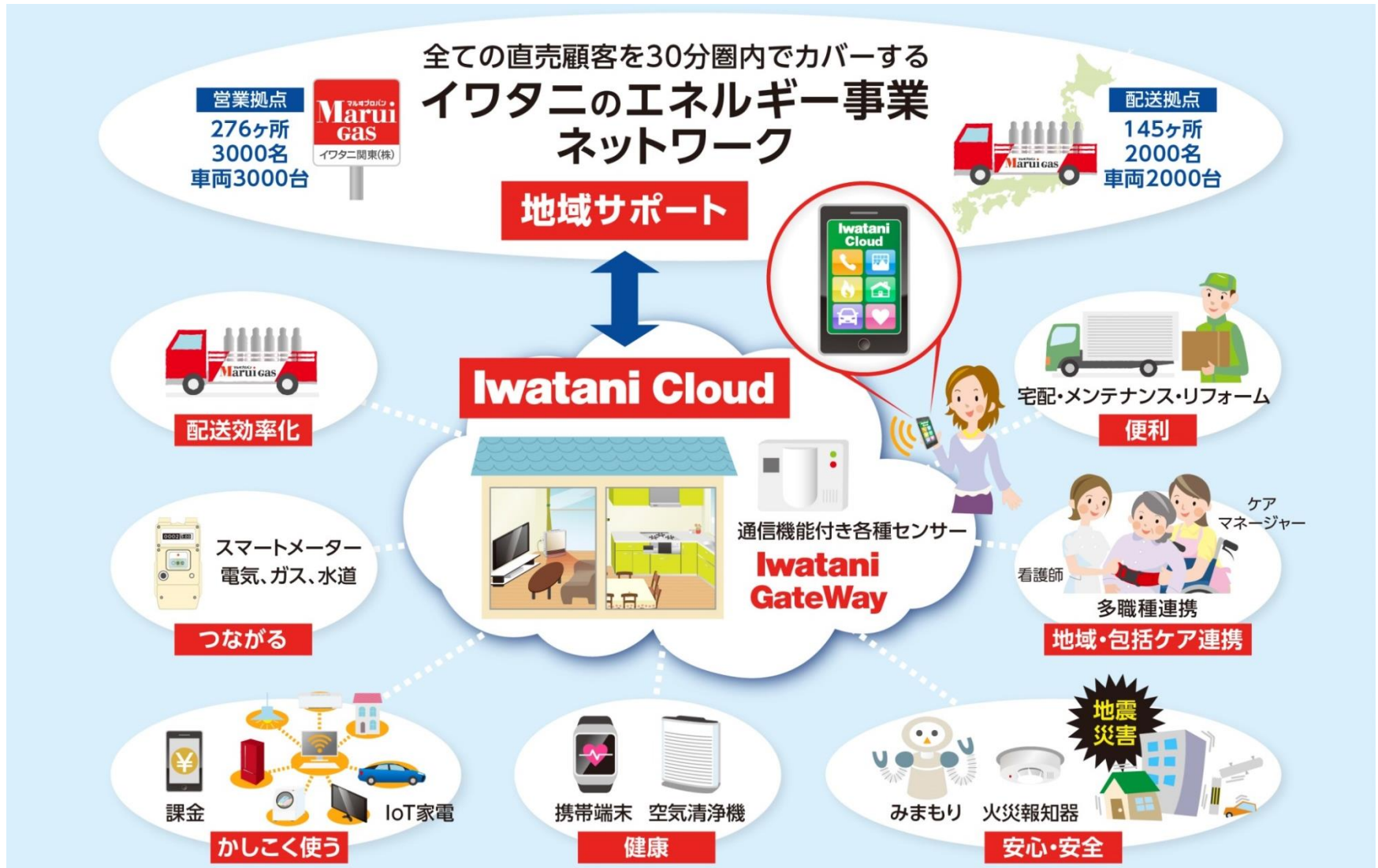
イワタニゲートウェイへの取り組み



「通信機能付きガス漏れ警報器」によるゲートウェイ機能 (イメージ)

新たな事業基盤の構築について

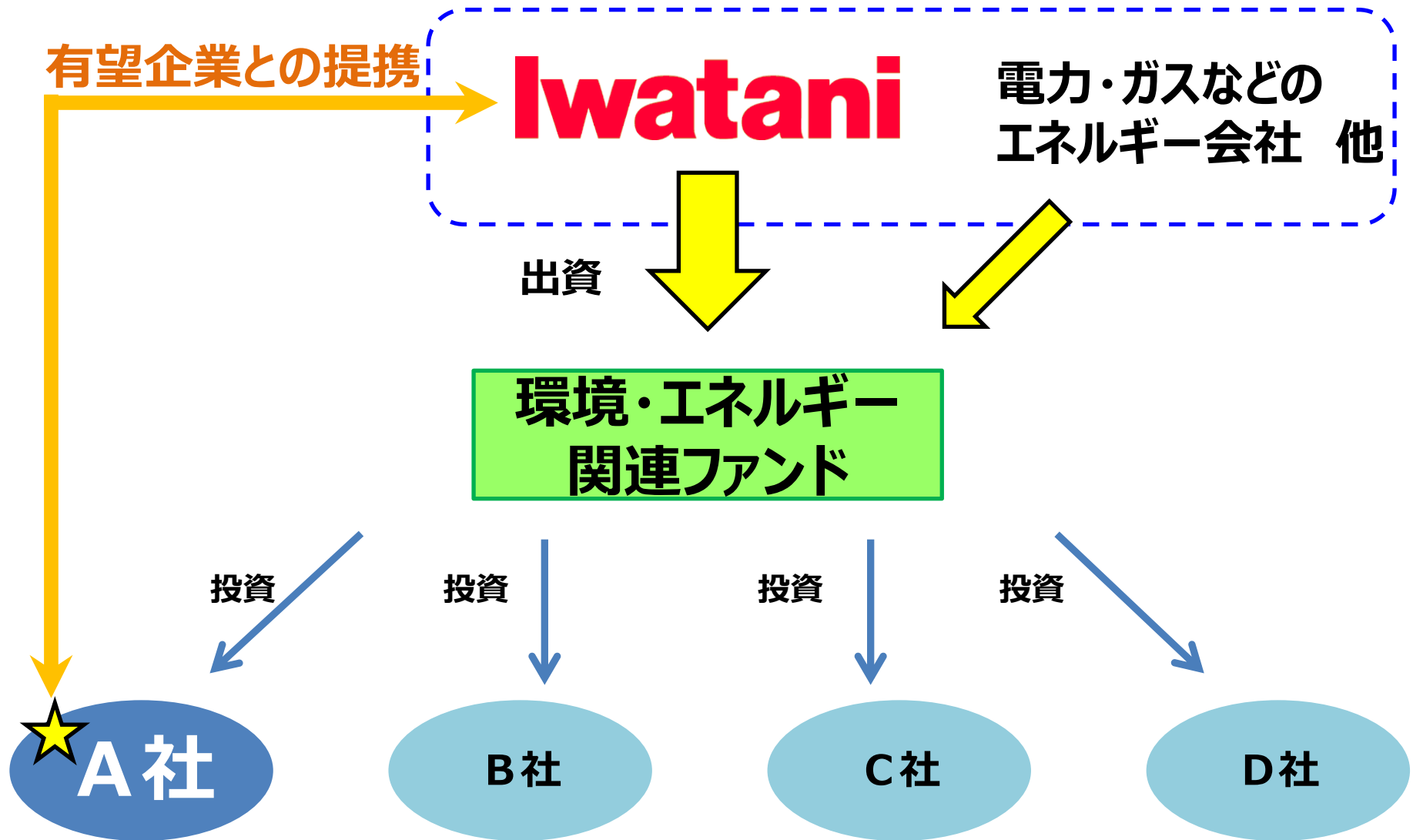
イワタニゲートウェイへの取り組み



AI・IoTを利用した事業基盤の構築（イメージ）

新たな事業基盤の構築について

環境・エネルギー分野のベンチャーファンドへ出資



都市ガス小売自由化 について

都市ガス小売自由化について

電力会社と提携し、都市ガス事業を拡大



関西エリア
当社保安顧客
58万戸



中部エリア
当社保安顧客
10万戸

Iwatani



NEW

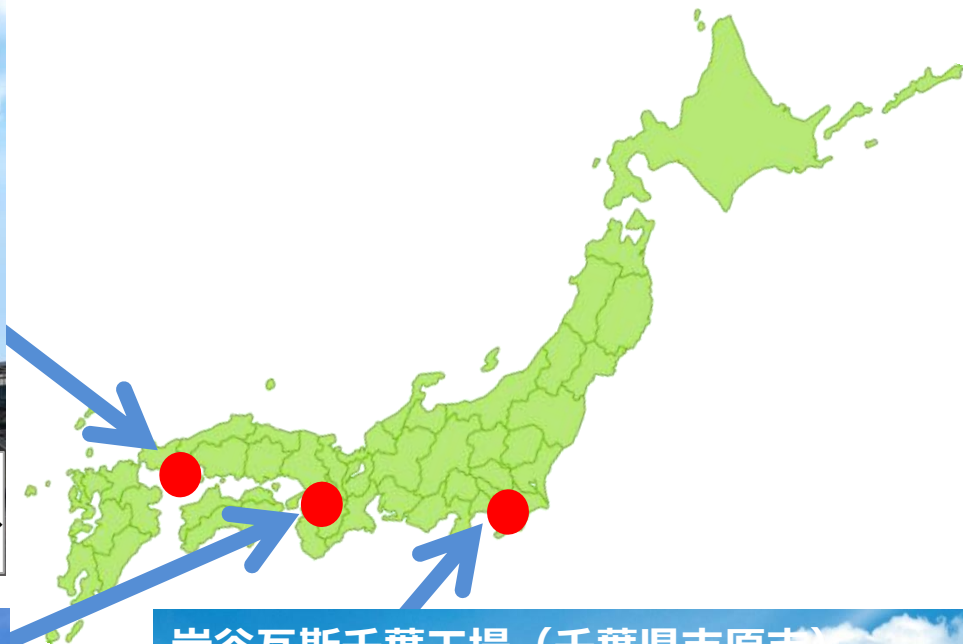
2018年10月～

九州電力と提携し、福岡・北九州エリアで
都市ガス機器の販売を開始

水素事業について

水素事業について

製造能力を増強し、年間 1. 2 億 m^3 の生産体制へ



水素事業について

水素社会構築技術開発事業（福島水素P J）

FHER FUKUSHIMA
HYDROGEN
ENERGY
RESEARCH
FIELD



水素製造装置の完成予想図 提供：東芝エネルギーシステムズ（株）

水素事業について

福井国体の炬火に水素を供給（世界初）

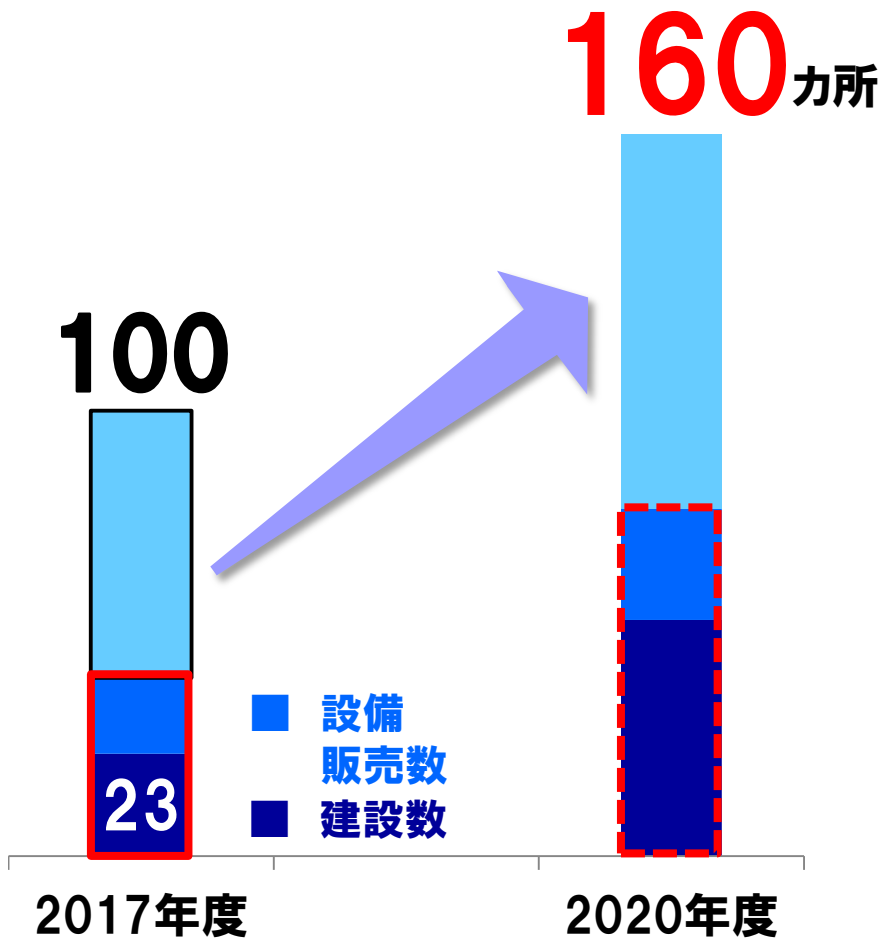


水素で燃える炬火

水素事業について

水素ステーション建設の推進

＜水素ステーション整備計画＞



2018年度 建設予定
大阪・伊丹、和歌山、愛知・熱田、
新潟、東京・葛西



大阪・伊丹（完成予想図）



和歌山（完成予想図）



愛知・熱田（完成予想図）



新潟（完成予想図）

水素事業について

F Cバス向け水素ステーションの整備



F Cバスへ充填可能なイワタニ水素ステーション東京有明

水素事業について

セルフ式の水素充填による運営効率化の推進



セルフ充填の様子

イワタニ水素ステーション芝公園

水素事業について

日本海側で初の水素ステーション整備



新潟に建設予定の水素ステーション（完成予想図）

Iwatani

お問合せ先

岩谷産業株式会社 経営企画部 I R 担当

TEL : 06-7637-3470 FAX : 06-7637-3333 WEB : <http://www.iwatani.co.jp>

**将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。**